

# ボランティアセンター

通信

総合福祉保健センター5F  
問い合わせ TEL(442)2940  
FAX(446)4545

## 開所時間

月～金曜日：午前9時～午後4時  
第2・4土曜日：午後1時～午後4時

## これからの予定

- 7月～8月  
ジュニアボランティア  
体験学習
- 10月～12月  
市民ボランティア  
体験学習



## 災害からいのちをまもる

平成18年度災害救援ボランティア養成講座を開催

いざという時に地域の防

災リーダーとなる人材を養成するため、昨年度よりスタートした「災害救援ボランティア養成講座」。2回目となった今年度の講座には16名が参加し、防災に関する基礎知識を学びました。



災害救援ボランティア養成講座1期生

森 輝正

私がこの講座を受講した動機は、阪神・淡路大震災の経験からです。宝塚の家は半壊し、見渡す所家屋が全壊や半壊の見るも無残な有様に足は震え呆然と立ちすくみました。避難所となった近くの体育館で一夜を過ごすことになりましたが、非常に苦痛な思いをしました。そんな中でも地域の方々が休む間もなく役割を分担して動いていた姿は、いまだに頭から離れません。

講座では自分の命・家族の命・みんなの命を守るた

めに、防災に関する知識を学び、普通救命講習も受けました。救命講習は忘れてしまわないよう、繰り返しの実習が必要と感じました。

受講後は地域防災に少しでも役立ちたいと考え、自治会長に相談して月1回の「ふれあい談話室」で、「わが身・わが命は自分で守れ」を基本に、家具転倒防止・3日分の飲料水と食料・非常持出しの常備などについての話をしました。

昨秋の福祉健康フェアでは災害救援ボランティアとして、防災についてのアンケートを実施し、市民の防災に関する関心の高さを感ずりました。

今年度の養成講座では、1期生として、防災センターでの災害体験や、市の防災の実情についての講義に参加し、その後1期生と2期生とで非常食の試食をしながら交流をしました。

今後この講座を続けていいただき、災害救援ボランティアの登録者が増え、地域の防災力が高まることを願っています。



## ボランティアグループ紹介

要約筆記サークル

「あいあい」

会長 原 拓也

「要約筆記」とは聴覚に障がいが生じ、聞くことに不自由を感じている方たちのために、講演会や会議など、必要に応じて話の内容を要約し、日本語で表記して聞き手に伝える作業をいいます。高齢社会といわれる中で、中高年になってから聴覚に衰えを感じる方が増えています。私たちが耳代わりとなって情報保障をすることによって、家に閉じこもってしまわず、積極的に社会参加できるようになればと思います。



▲会員は現在23名。定期的に研修・研鑽の場を持ちながら活動しています。

## はじめの一步

「男の料理と仲間づくり」



広報を見て参加しました。参加した仲間は16名。4名4班体制で6回の調理実習を行いました。指導して下さったのは元帝国ホテルシェフ高申秀夫先生でした。包丁の使い方から調理の心構え等、丁寧に教えてもらいながら実習しました。

実習の最終回は、在宅で家族を介護している方々におもてなし料理を披露しました。日頃苦勞されている方々に、ひと時ではありますが、心休まる時間になって欲しいと願いつつ料理しました。皆さん喜んでくださり、一同心から良かったと思っております。

吉田光男

★定年退職後の男性を対象に、地域活動への第一歩を踏み出すきっかけになればと企画しました。

整理ボランティア  
コスモスの会より  
ご協力へのお礼とご報告  
収集したブリペイドカード・使用済切手等を換金し、小規模福祉作業所「生活の丘梨の木工房」へ2万円、たんぼぼハウスへ3万円を備品購入資金の一部として寄贈しました。引き続き皆様のご協力をお願いします。

## 集めています

### ①学生ボランティアより

小学6年生から大学生で組織する学生ボランティアは、福祉行事の手伝いや、障がいのある人たちの交流などを行っています。活動資金を得るため、8月の「市民夏まつり」でバザーを実施しますので、献品にご協力をお願いします。



### ②ボランティアグループや施設で利用します

- ・書き損じのハガキ
  - ・タオル（新品）
  - ・花の種
  - ・ノートパソコン
- (ウィンドウズ98以上)